

串間市中学校再編意見交換会における質問・意見概要

期 日	平成 26 年 5 月 27 日 (火)	時 間	19 : 04 から 20 : 02 まで
場 所	総合保健福祉センター (福島中学校区)		
出席者	保護者 5 名、教職員 9 名、地域住民 3 名、計 17 名		
事 務 局	教育委員 (教育長を含む。) 5 名 学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、施設係長、指導主事、教育総務係長		
No.	質 問	教育委員会説明・回答	
1	学級の人数を 35 人なりに減らし、担任の負担を減らさないと問題を抱えたときに負担が大きいと考える。委員会としてどう考えているのか。	現在少人数指導を行っているが、それが充実するように市教委としても講師を採用していきたい。また特別支援学級のクラスも増え 1 クラスあたりの人数も増えてくると、困り感の生徒も出てくると思う。その場合にはサポートできるように講師を充実していきたい。また、少人数学級ができるような体制を作りあげて、えびの市のように少人数学級を目指して充実させていく方向は教育委員会としても持っているので、徐々に充実させる方向で推し進めることには変わらない。	
2	学校再編は決定していて、その後の話を説明されているのか。	基本計画及び実施計画の素案については教育委員会で決定している。学校再編を進めていくために現在、市長部局において調整会議にて協議している。最終的には市の最高意思決定機関である庁議の決定が必要になってくる。この庁議で決定して条例改正案と予算案の審議が市議会で承認されて始めて学校再編が進んでいく。今後、このような手続きを経て進めていく。	